

2024 年 11 月 12 日

【聖心プラン 2028】概要

聖心女子大学学長
安達まみ

聖心女子大学の理念は、一人ひとりの人間をかけがえない存在として愛するキリストの聖心（みこころ）に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを広く深く築いていく女性を育成することにある。現代世界はかつてない激動の時代を迎え、急速な科学技術の革新とグローバル化による社会構造の変動が、人間の価値観、生き方、働き方を根本から揺るがしている。一方、様々な地球規模の課題が深刻化し、人間の尊厳と生存は危機に瀕している。本学を取り巻く環境にも、国内 18 歳人口の減少、文系小規模大学の低迷、本学優位点・知名度の低下等、楽観を許さない現実がある。

このような時代にあって、本学はここに創立 80 周年に向けた【聖心プラン 2028】を策定する。よりよい未来の実現をめざして社会に新しい希望や可能性をもたらす女性を今後も世に送り出すためである。

「3つの Be (Be Independent, Be Intelligent, Be Cooperative)」に体现される大学の理念の下、社会の変化や要請を視野に入れつつ、次世代を育成する高等教育機関としての役割、女子大学としての役割、また本学独自の役割を確認・具体化する。そのために、各政策目標を通して、学生一人ひとりの「個の力」を育てる大学を確立する。

その実現のためには、まず、聖心女子大学が直面している二つの危機、すなわち、1) 女子大学全般の危機、及び、2) 本学固有の危機を超克せねばならない。1) による受験者動向の変化に対しても揺らぐことのない教育研究体制を再構築して時代の要請に応え、同時に、2) をもたらした財務状況の悪化を改善して財政基盤の安定化を達成する。

I. 教育の充実

本学の伝統的なリベラル・アーツ教育を基とし、予測困難な時代の中で人生を切り拓くために必要な「時代に働きかける知」と「時代を越えるゆるぎない知」を修得するための体系的な教育プログラムを提供し、聖心スピリットを涵養する「学修者本位の教育」の実現を進める。

[政策目標]

・専門的学びと横断型学びの体系化（学科再編）

- ・理系分野の強化
- ・初年次教育/4年次教育の充実
- ・国際化の推進
- ・生涯キャリア教育の強化
- ・学生支援体制の強化

II. 研究・社会連携の推進

研究環境の充実を通して、学術の創造を図り、教育と社会に還元する。加えて、官民や地域・海外大学との協定等による連携の推進、研究者交流の活発化、人材育成・共同研究の促進等を図り、多様化する社会の中で評価される研究・社会連携の拠点を形成する。

[政策目標]

- ・研究力の強化
- ・産官学域・大学間連携の推進

III. 学生の受け入れ

アドミッション・ポリシーに適合した多様な背景を持つ学生の受け入れ施策を構築し、諸施策を推進する広報展開を行う。

[政策目標]

- ・入学者選抜の検証と改善
- ・高大接続対応の入学者選抜制度
- ・情報発信の強化

IV. 組織・財政基盤の安定化

上記の目標を達成するため、人的・物的・資金的基盤を安定させるとともに、戦略的かつ機動的な大学運営の刷新を進める。

[政策目標]

- ・財政構造改革の実行
- ・事務組織の強化
- ・DX化の推進
- ・資源の有効活用
- ・施設・設備の整備・充実